

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例 (平成22年5月第5週までの報告分)

改善事例 1

「第二のセーフティネット」に関する好事例の各自治体との共有

【改善点】

5月18日に、「第二のセーフティネット」をテーマとして、全国福祉事務所長会議を開催しました。同会議においては、福祉事務所が所管する事業だけではなく、住宅手当、総合支援資金貸付、ハローワークとの連携など、「第二のセーフティネット」に関する施策全般について説明を行いました。

また、自治体を代表し、堺市や福岡県等の職員から、医療扶助の適正化や就労支援の取組事例を説明していただき、関係者間で情報を共有しました。

(参考) 全国福祉事務所長会議資料 (5月18日開催)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/seikatsuhogo/kaigi/100518-1.html>

(照会先)

社会・援護局総務課指導係 (内線 2816)

改善事例 2

レセプト審査後に医療費の自己負担額が減額された場合の、御本人へのお知らせに関する取組要請

【改善点】

レセプト審査の結果、医療費の額が減額となる場合がありますが、その際、医療機関での窓口での負担額も減額されることから、健保組合や市町村国保などの保険者から御本人(被保険者)あて、その旨をお知らせすることが望ましいと考えております。

このため、5月10日に行われた健保組合連合会の会議において、御本人へのお知らせを行って頂くよう取組を依頼しました。また、5月21日には、各保険者に対し、文書で取組を依頼しました。

(参考)「減額等となった一部負担金等の額の医療費通知への付記について」(平成22年5月21日保保発0521第4号、第5号)

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T100527S0060.pdf>

「減額等となった一部負担金等の額の医療費通知への付記について」(平成22年5月21日保国発0521第1号)

<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T100527S0050.pdf>

「後期高齢者医療制度における医療費減額査定に伴う被保険者通知の実施について」(平成22年5月21日保高発0521第2号)

(照会先)

保険局保険課企画法令第一係(内線3247)

保険局国民健康保険課企画法令係(内線3258)

保険局高齢者医療課高齢者医療指導調整官(内線3229)

改善事例 3

薬剤師国家試験合格証書の再交付の申請方法に関する情報提供
(厚生労働省ホームページへの掲載)

【改善点】

薬剤師国家試験の合格証書の再交付について、試験合格者から多くのお問い合わせが寄せられておりますが、そのほとんどが、申請書の入手方法や、申請のやり方についてのお尋ねでした。

このため、厚生労働省ホームページに、再交付申請の手続や、申請書の様式を掲載し、容易に確認することができるようにしました。

(参考) 申請書様式と申請手続案内

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakuzaishi/dl/yakuzaishi-d.pdf>

(照会先)

医薬食品局総務課試験免許係 (内線 2715)

改善事例 4

労働条件に関するメールへの回答における、労働基準監督署窓口の御案内

【改善点】

本省あてにメールで寄せられた一般の方からの労働条件に関する御相談については、これまでもメールで回答を行ってきたところですが、個々の事案等に関する御相談については、最寄りの労働基準監督署に直接御連絡いただくことで、より丁寧な対応が可能となります。

このため、本省あてに寄せられた労働条件に関するメールへの回答において、全国の労働基準監督署の一覧が掲載されているホームページのURLを掲載し、最寄りの労働基準監督署が容易に確認できるようにしました。

(照会先)

労働基準局監督課企画係 (内線 5423)

改善事例 5

年金に関して寄せられる「国民の皆様の声」の施策等への反映

【改善点】

年金に関して寄せられる「国民の皆様の声」を施策等の改善に結びつけるため、本年5月に年金局に定期的な検討の場を設置し、取組を開始しました。

局内幹部のリーダーシップによって「国民の皆様の声」の実現を図るべく、局内定例幹部会議において、毎週検討を実施し、対応の方向性や検討期限等について決定しています。

なお、今後、年金局で受け付けた「声」のうち、日本年金機構において検討を要する事項や、日本年金機構において受け付けた「声」のうち、年金局において検討を要する事項については、相互に漏れなく伝達し、施策等の改善状況をフォローアップすることとしています。

今後とも「国民の皆様の声」を踏まえ、施策等の改善に努めてまいります。

(照会先)

年金局総務課企画係(内線 3316)

今週の現場訪問・意見交換 1

余裕教室の保育所への転用に関する意見交換の実施

【概要】

余裕教室の保育所への転用等に関する実態を把握し、今後の施策の参考とするため、5月21日に、品川区の保育園を現場訪問し、保育園の職員等と意見交換を行いました。この現場訪問には、内閣府と文部科学省の各担当者も同行しました。

意見交換において保育園側からは、

- ・ 余裕教室に分園を設置したことにより、ゆとりある空間で保育が実施され、職員や園児に精神的なゆとりが生まれている。
- ・ 小学校の雰囲気を感じてもらえるため、保育園卒園から小学校入学までの流れがスムーズに行える。

などの御意見をいただき、また、学校側からは、

- ・ 保育園児との関わりが、在校生の心の成長に大きな変化をもたらしている。
- ・ 今後、更に保育園と学校との交流をより良くしていくための方策を検討していきたい。

といった御意見をいただきました。

(照会先)

雇用均等・児童家庭局保育課企画法令係(内線 7920)

予算係(内線 7927)

今週の現場訪問・意見交換 2

地方における肝炎対策等に関する意見交換の実施

【概要】

東北ブロックにおける肝炎対策の状況等を把握するため、担当室が宮城県を訪れ、東北各県の担当者と意見交換を実施しました。（20日）

また、地方における肝炎患者・感染者の方々の生の声をお聞きするため、宮城県下で活動している肝炎患者団体との意見交換を実施しました。（21日）

意見交換においては、

- ・ B型・C型ウイルス性肝炎に対する理解不足が原因で、職場や地域において、不合理な扱いを受けることがある。

肝炎についての普及啓発を、もっと行うべき。

- ・ 宮城県は、行政と、患者会及び医療機関の3者が協力して肝炎対策に取り組んでいるため、患者の方々の声が反映された肝炎対策が行われている。他地域でもこうした取組を推進するべき。

といった指摘を頂きました。

厚生労働省としては、今回の御意見も踏まえまして、

- ・ 肝炎という病気（予防・病態・治療）についての普及啓発、
- ・ 患者の方々の御意見をふまえた、地域の実情に応じた肝炎対策、

等が進むよう、今後、開催予定としている肝炎対策推進協議会において御議論いただき、検討を進めてまいりたいと思います。

（照会先）

健康局疾病対策課企画法令係（内線 2947）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。